

発行所  
石川県保険医協会  
〒920-0902 金沢市尾張町2丁目8番23号  
太陽生命金沢ビル6階  
☎(076) 222-5373番 FAX(076) 231-5156番  
編集部E-mail; iskw\_sugino@doc-net.or.jp  
発行人 井沢宏夫  
印刷所 ソノダ印刷株式会社  
購読料 1年間5,000円(〒共)  
(※本紙の購読料は会費に含まれます)

# 石川保険医新聞

主な記事

2面 歯科サタデナイトセミナー  
小児糖尿病サマーキャンプ

3面 第7回 会員デビュー講演会③

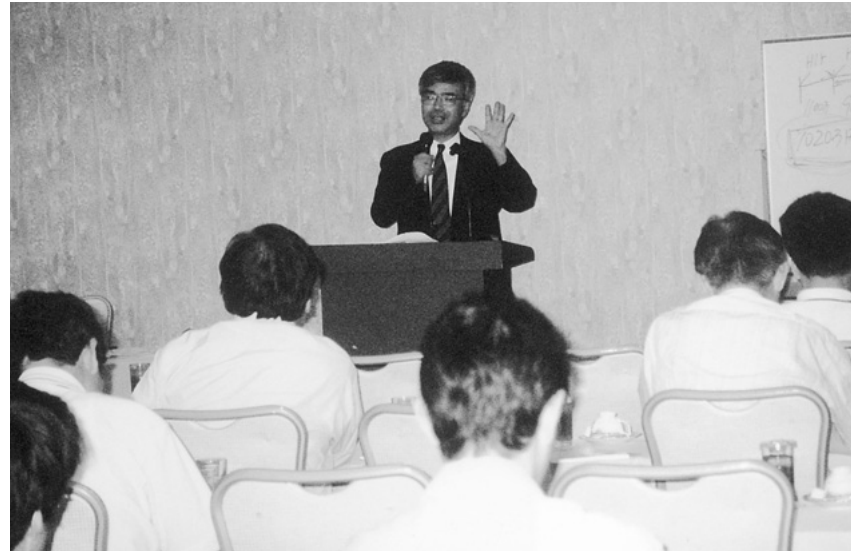
4~5面 保団連夏季セミナー

6面 おサル先生の在宅医療入門③

7面 早川ドクターの山三昧

8面 新シリーズ“ラスベガス”

今月の会員数/995人(医科721人・歯科274人)



保団連参与・神奈川協会顧問の益子良一税理士をお招きし開催された  
医院経営セミナー

## 医院経営セミナー

# 消費税法非課税からゼロ税率へ 患者と医院を守るため

理事 小島 登(内灘町・歯科)

医院経営セミナーが七月二十四日(土)午後七時〜午後九時に金沢都ホテルで開催され、約二十人の参加があった。

講師に全国保険医団体連合会参与、神奈川県保険医協会顧問税理士の益子良一氏をお迎えし、消費税法の改正と医療機関の対応策についてお話しいただいた。

以下に要約を報告する。

◇ 従来、多くの医療機関に

とって、社会保険診療報酬が非課税とされる関係もあって、消費税に対する関心が十分とは言えない状態であった。しかし、二〇〇三年四月一日以後に開始する事業年度が基準期間(つまり消費税を申告する必要があるかどうかを判断する期間)になる。課税、非課税と課税の区分について理解し、これから毎年課税業者か免税業者か判断する必要がある。自由診療の中にも政策上非課税となるものと課税になるものがあり、細部にわたり質問が集中した。

詳しい範囲については、テキスト『保険医の経営と税務』二〇〇四年版三十二〜三十九ページの「医療機関の収入」に関する課税関係を参考にされたい。

課税業者になればその二年後が課税期間になる。簡易課税が有利か不利かを試算して、簡易課税が有利であれば、忘れずに今年中に「消費税簡易課税制度選択届出書」の提出が必要。提出すると二年間はやめることはできないので、将来のこともよく考える必要がある。

五千万円を超える場合は、本則(実額)課税となり、二つの記帳体制が必要

個人の場合は平成十五年に一千万円以上の課税売上があれば、平成十七年分の消費税の申告、納付を行わなければならない。

法人の場合は平成十四年四月一日以後に開始する事業年度が基準期間(つまり消費税を申告する必要があるかどうかを判断する期間)になる。課税、非課税と課税の区分について理解し、これから毎年課税業者か免税業者か判断する必要がある。自由診療の中にも政策上非課税となるものと課税になるものがあり、細部にわたり質問が集中した。

詳しい範囲については、テキスト『保険医の経営と税務』二〇〇四年版三十二〜三十九ページの「医療機関の収入」に関する課税関係を参考にされたい。

課税業者になればその二年後が課税期間になる。簡易課税が有利か不利かを試算して、簡易課税が有利であれば、忘れずに今年中に「消費税簡易課税制度選択届出書」の提出が必要。提出すると二年間はやめることはできないので、将来のこともよく考える必要がある。

五千万円を超える場合は、本則(実額)課税となり、二つの記帳体制が必要

## 石川県保険医協会 医療安全研修会 医事紛争予防の心得

講師 森 充弘氏(京都府保険医協会・医療安全対策室事務局)

1995年から1999年の医療事故訴訟の動向を見ると、新規受け付けは434、581、595、629、638件と増加しています。今後も医療事故、医事紛争共に増加傾向にあります。

医療事故とは、「診療の過程で患者に意外な(患者が覚悟していない)結果が発生したこと」の意味です。医学には限界があり、まだ解明されていないことも多くあります。また、人間には個人差があり、ある検査や治療法がすべての患者さんにとって適切とは限りません。医療の不確実性や医療の高度化に伴う危険が医療事故を増加する要因ともなっています。

細心の注意で医療事故を少なくするとともに、ミスをしたときにどういうふうに対処できるかが大事になります。小さな事故やニアミスの分析・検討は将来の重大事故を防止するための大きな教訓になります。

良好な関係が生まれるためにインフォームド・コンセントが大切です。インフォームド・コンセントとは、「説明と同意」ではなく、「同意するための説明」「説明に基づいた同意」であり、本質は「同意」です。患者さんが自分で判断できるようにするため、話す時に事実と意見をきちっと使い分け、患者に不利なこと・不利益なことを伝えることが重要になります。

今回、40年以上医事紛争に取り組んできた京都府保険医協会から講師をお招きし、実際に対応してきた事例に基づき、医療現場での患者対応や予防についてお話ししていただきたいと思っています。後半は質疑応答に時間をかけ、議論していきたいと思っています。事前に質問事項がありましたら、保険医協会事務局までメール、ファックスにてお送りください。この機会にぜひご参加ください。

なお、正確に解釈されずに誤解を招く場合がありますので、録音、録画はご遠慮ください。

開催日 2004年9月28日(火) 午後7時半

参加対象 会員及びスタッフ

会場 金沢都ホテル 5階 能登の間

参加申込 FAX 076-231-5156 TEL 076-222-5373 E-mail:ishikawa-hok@doc-net.or.jp

テキスト 「事例で見る医事紛争予防の心得」 (定価:1,000円/京都協会・医療事故調査対策部会・編集)

※定員に達し次第、締め切らせていただきます。

なる。課税仕入れ等に係る消費税の控除を受けるために、①課税仕入れ等の事実を記録した帳簿、②課税仕入れ等の事実を証する請求書等の両方が必要になった。

消費税導入時に、医療機関は消費税非課税による損税(患者支払いを増やさず、仕入れなどに係わるすべての消費税を負担する)を選択し、大企業を中心とする

輸出企業は輸出免税による還付(輸出品には消費税がかからないから、それに係る支払った消費税を国から戻してもら)を選択した。対応の違いで、例えばトヨタ自動車は年間千五百億円の消費税還付を受け、医療機関は経費がかさんでいる。今後その差はますます広がっていく。

消費税は健康保険料の引き上げ、患者負担の増大、認識し、自分の意見を持ち、行動する時期に来ていると思う。

診療報酬の引き下げとともに、多くの医療機関にとって経営を脅かす大きな問題となっていくだろう。患者を守り、医院経営も守るためには、仕入れにかかった消費税を全額還付される「ゼロ税率」(本来の意味の消費税非課税)が必要になってくる。事実をしっかりと認識し、自分の意見を持ち、行動する時期に来ていると思う。

相変わらず、いや例年にもまして、これでもかと繰り返し耳目に入ったのは、メダル選手とアナウンサーの耳をつんざく絶叫ばかりである。

しかし、全競技の成績一覧表を見ると、ほとんどの競技に日本選手が名を連ねているではないか。確かにメダルを取らない選手は、マスコミにとってはなんのニュース価値もないのである。メダリストの栄光と心身の極限に挑んだ努力は称賛されるべきであろうが、無冠の彼らにも、むしろ、より多くの暖かい関心が寄せられてもよいのではないだろうか。

弱肉強食がはびこる世の中だからこそ、敗者へのいたわりが欲しい。スポーツを倫理・社会現象と結びつけるのは好まず、スポーツとして単純に楽しみたいのだから、弱者を切り捨てようとしている現在の社会保障制度の後退が、思わず重なり合ってしまった。

## 医心凡語

二十一世紀最初のオリンピックが、ギリシャのアテネで八月に開催された。オリンピック発祥の地である。連日深夜のテレビで、寝不足の人も多かったようだ。

日本選手の活躍が、にぎやかにテレビ、新聞などで報道された。金十六、銀九、銅十二、計三十七個のメダルは、二十八競技三百一種目のうちから得たもので、金の数は世界第五位にあたる。

歯科サタデイナイトセミナー

夢のレーザー誕生か

山本 司 (野々市町・歯科)

八月二十八日、金沢都ホテル「能登の間」において、歯科サタデイナイトセミナーが開催され、歯科会員を中心に二十人の参加者が集まった。

八月二十九日(木)午後七時から、内灘町福祉センターで小児糖尿病サマーキャンプが実施され、今回、初めて参加させて頂きました。

小児糖尿病サマーキャンプに参加して スタッフの努力が 口腔内に表われて

津田 謹誠 (津幡町・歯科)

お話しは、従来の歯科用レーザーの概念などの基礎的な説明に始まり、次いで各種レーザーの使用法や臨床的効果の基礎をお話された。レーザーの「波長の長さ」と「照射時間」が臨床的な効果に違いを及ぼすこと

八月十九日(木)午後七時から、内灘町福祉センターで小児糖尿病サマーキャンプが実施され、今回、初めて参加させて頂きました。参加のきっかけは、自医院の小学生の糖尿病を患っている患者さんから「サマーキャンプに毎年参加している、楽しみにしています」と聞いて、では実際歯科ではどんなことを取り組んでいるのだろうかという興味を持った次第です。



講師の栗津邦男大阪大学大学院工学研究科教授

八月十九日(木)午後七時から、内灘町福祉センターで小児糖尿病サマーキャンプが実施され、今回、初めて参加させて頂きました。参加のきっかけは、自医院の小学生の糖尿病を患っている患者さんから「サマーキャンプに毎年参加している、楽しみにしています」と聞いて、では実際歯科ではどんなことを取り組んでいるのだろうかという興味を持った次第です。

囲碁解答 (問題8面) and 将棋解答 (問題8面) sections with diagrams and text.

学術講演会「歯科における再生医療-第二の永久歯」 日時 10月17日(日) 午前9時~午前11時30分 場所 ホテル日航金沢 4階 鶴の間 講師 上田 実 先生 (名古屋大学大学院医学系研究科教授) 参加対象 歯科医師、医師、歯科スタッフ 参加費 1,000円(非会員 6,000円)

Comprehensive Dental Care 今こそ思い切った改革を 歯科学術講演会のご案内 講師 川村 泰雄氏 (医療法人川村会会長) 開催日時 9月26日(日) 午前9時~午後1時 開催場所 金沢都ホテル 5階 能登の間 (JR金沢駅東口正面 電話076-261-2111) 参加対象 歯科医師 参加費 無料 (非会員医療機関 5,000円) 申込みは右記まで 石川県保険医協会 〒920-0902 金沢市尾張町2-8-23 太陽生命金沢ビル6階 TEL 076-222-5373 FAX 076-231-5156 E-mail:iskw\_kudo@doc-net.or.jp



# 34回夏季セミナー

## 報告

七月十七日・十八日の両日、東京・虎ノ門パストラルで、保団連の第三十四回夏季セミナーが開かれた。

政府の医療「構造改革」に對峙するための「社会保障と平和を基盤とする国づくり」に向けた政策討論などが行われ、医師百八人、歯科医師七十六人をはじめ、総勢三百五十四人が参加した。

石川協会からは平田米里理事、奥田宏理事、山本司歯科部員の三人が出席した。以下、報告原稿を掲載する。  
(編集部)

### 特別講座1 ほか

## 「国民医療と社会保障」

理事 平田 米里 (野々市町・歯科)

七月十八日の午前中は、特別講座一・『国民医療と社会保障』唐鎌直義専修大教授の講演に、大きな期待を持って参加した。会場は百人を超える人が参加し盛況であった。その大きな会場はフラットな設定だったため、氏は顔が見えるようにとの配慮からか、最初から最後まで二時間以上も立ちっぱなしで熱弁を振られた。

講演要旨を詳細に記述できないが、個人的に伝えておきたい箇所を報告させていただきますことにする。

まず一つは、社会保障はなぜ生まれたのかという点に関して、私にとって新鮮で非常に分かりやすい解説をいただいた。

・・・十九世紀末において、世界一豊かな英国に、特別な場合を除けば貧困などある訳がない? という仮説を検証すべく、船会社のオーナーで大金持ちのチャールズ・ブースは私財を投げ打って、当時流行し始

めた統計学的手法を使い調査した結果、三十五パーセントもの貧困層があることが判明したという。当時、他人に頼らないで家族が普通に生きていけるには週に二十二シリング以上の収入が必要という(自己流の基準を設定し、それ以下なら貧困と定義したそう)。それまでは、貧困の原因は個人的な理由(怠け者など)が原因と考えられていたのだが、検証してみたら七割が不規則就業(安定した雇用がない)、二割が境遇、一割が道徳的に問題がある」と分かったという。ここからが英国の偉いところ? で、つまり大部分の貧困は個人の問題でなく、社会的要因が原因だからこそ、社会が支援する必要があると結論付け、対策に乗り出したものが社会保障の起源となったというのである。

・・・その道を専攻した方々には多少の異論もあるかもしれないが、私にはすつきりした解説に思えた。

## 保団連地域医療活動交流集会 11/27・28 のご案内

主催: 全国保険医団体連合会地域医療対策部

- 日時** 2004年11月27日(土)～28日(日)
- 会場** 東京新宿・三省堂文化会館 1階ホール(新宿駅西口 徒歩15分)
- テーマ** 「痴呆高齢者の身体・心・口腔を地域で支える」
- 内容** 27日(土) 記念講演/19:00～21:00(一般公開)  
テーマ/「痴呆高齢者の体・心と地域ケアの課題」  
講師/本間 昭先生  
東京都老人総合研究所精神医学部門研究部長  
日本痴呆ケア学会代表幹事  
厚生労働省「高齢者介護研究会」委員

### 28日(日)

- 参加費/500円(資料代)
- 参加対象/協会会員及びスタッフ、医療・福祉関係者、市民の方々
- 活動交流/10:30～15:30
- 活動報告と討論を行います。
- 第一セッション  
演題テーマ/「痴呆高齢者への口腔ケアの実践と課題」  
10:50～12:00  
報告①新屋俊明先生(鹿児島協会)  
報告②森元主税先生(東京歯科協会)
- 第二セッション  
演題テーマ/「痴呆の早期発見・予防活動の実践と課題」  
13:00～13:50  
報告①「物忘れ外来の取り組み」(依頼中)  
報告②「群馬県高崎市における物忘れ検診の取り組み」  
月岡関夫先生(群馬協会)
- 第三セッション  
演題テーマ/「痴呆高齢者ケアの実践と課題」  
13:50～15:20  
報告①片山成仁先生(東京協会)  
報告②医師(依頼中)  
報告③宮崎和加子氏(東京都。グループホーム長)
- 参加費/500円(資料代) 昼食弁当代(希望者のみ)/1,500円
- 参加対象/協会会員及びスタッフ、医療・福祉関係者

参加をご希望される場合は、保険医協会まで

TEL (076) 222-5373 FAX (076) 231-5156

と同時に、保団連の主張が『真理』に思えてきた。現在の『市場経済型の資本主義』と『福祉国家型の資本主義』との違いが、『賃金』と『公共財』(医療・福祉・教育・住宅などの個人ですべて用意するには負担の大きいもの)との比率の違いになる関係が図解でき、愚鈍な私にもすっきり見えてきた気がした。

もう一つ印象的なお話しは、・・・百年ほど前に医学の発達により、医者にかかれれば命が助かる時代になり、医療という新しいニーズが生まれたが、それは高価なものでもあった。資本主義国家においては、各個人が全員、高い医療費を払えるような賃金を得ること、争と社会主義への対抗手段としての社会保障の発展』と指摘は、『戦後第一の、李啓充氏の講演は良かった。日本はアメリカの真似をしようとしていたが、米国で今何が起きているかを知った上で、何か胸のつかえがスッと消えていくよう心地よかったです。

午後第一の、李啓充氏の講演は良かった。日本はアメリカの真似をしようとしていたが、米国で今何が起きているかを知った上で、何か胸のつかえがスッと消えていくよう心地よかったです。

この講演の内容は『月刊保団連・臨時増刊号・二〇〇四年八月十六日号』に『米国医療の実態から日本の医療改革を考える』と題して、詳しく掲載されている。ぜひ一読をお勧めする!! (一時間強もあれば読み切れる量である)。

また、同氏の『市場原理に揺れるアメリカの医療・医学書院』もお勧めしたい。私が何気なく断片的に聞き知っている内容では、アメリカの医師は保険会社の言

(五面に続く)



全国から354人が参加して開かれた保団連第34回夏季セミナー (7月17日・18日/東京・虎ノ門パストラル)

# 保団連 第

(四面の続き)

いなりで、何をしているのか!という印象があったが、この本によると、遂に、少しづつではあるが、医者が営利追求医療に対して宣言が開始されている報告(保団連の開業医宣言とは少し違うが、医療者の独立宣言)が巻末に載っていて勇気付けられる。

午後の第二部はパネラーの名前だけであるが報告しておく。

○石川協会某役員絶賛の読売新聞大阪本社科学部次長・原昌平氏

○日本患者・家族団体協議会代表幹事・伊藤たてお氏

○金沢市出身の保団連理事・政策部長・津田光夫氏

## 記念講演

### 「世界潮流と日本の社会構造変化」 「二十一世紀日本の進路」

理事 奥田 宏(金沢市・心療内科)

○都留文科大学教授・後藤道夫氏

知っている人は知っている、一人ひとりが講演会が

打てる論客ばかりである。来年も参加したくなる。夏季セミナーっていいな。参加できて幸せであった。

また、二日目の特別講座・市民シンポジウムもすばらしく、社会保障はその名の通り、必要に応じてできてきたもの。シンポジウムも患者さんの代表、マスコミ、社会学者、アメリカ医療の専門家とそろい、「保険証一枚で安心してかかる医療を—医療への患者参加、制度改善への国民参加を考える」にふさわしい内容だった。

政府の企業救済の従来からの姿勢が今も変わらないことが指摘された。企業を救い、企業が国民に給料を払い、その給料で医療費、老後の備えをしなさいとの姿勢。しかし現実若くは急激に中心に不安定雇用が急速に増え、健康保険制度が根本から崩れようとしている実情が浮き彫りにされた。

記念講演の寺島実郎さんの話(「世界潮流と日本の社会構造変化 二十一世紀日本の進路」)は、医療・保険には直接関係はなかったが興味深く、示唆に富むものだった。アメリカとはあたりまえのおとなの関係を築くべきだ。

日本は独立国であり、他国の軍隊の基地が冷戦のときそのままにあるのはおかしい。ドイツはアメリカとの地位協定を何回か改定し、基地は縮小している。大中国圏(中国本土、台湾、香港、シンガポール)との貿易額はアメリカとのそれを上回った。

二年後からは、わが国は人口が減り、二〇五〇年には一億人になる。そのとき

## 特別講座4

### 「歯科医療改革へ 向けた政策と運動」

山本 司(野々市町・歯科)

中国は十七億人。その中国といかに付き合ひ、経済関係を築いていくのが大きな課題となる。物流の観点からもこれからは裏日本が表日本になるだろうとの指摘には驚いてしまった。日本海がアメリカと中国・朝鮮を結ぶ海路になる(現になつていく)。

一方、昔の嫁(女性)はえらかったとの指摘は老人

今回、初めて保団連の夏季セミナーに参加するにあたって、全国の保険医協会にはどのような人たちがいるのか、わくわくしながら平田理事と東京へ向かうことになった。

七月十七日・十八日、東京・虎ノ門パストラルにて保団連第三十四回夏季セミナーが行なわれ、その中で二日目の特別講座「歯科医療改革へ向けた政策と運動」に参加した。

会場には全国から歯科医師四十一人、事務局員十七人の参加があった。提案者は奈良の馬場先生、司会は愛知の池先生、助言者は森本日大名誉教授、まとめは新潟の谷田部先生で執り行われた。

最初に馬場先生から問題提起があり、それをみんな

で討論していくという展開で進められた。まず「社会保障としての歯科医療の崩壊と変質」という問題提起

除外かの提案があり、千葉の石橋先生や東京の中川先生、兵庫の島津先生などが、地域での保険の総枠をいかに撤廃するかと話を進めた。

最後に「特定療養費・混合診療への幻想」において、今後の保険動向(義歯の補綴外などの可能性)や諸外国の保険事情(スウェーデンのインプラント保険導入)などを受け、熱い議論が交わされた。

今回セミナーに参加した

## 「医療電算化の光と影」講演会 医療電算化の現状と課題

### 医療のIT化は時代の流れというけれど

#### 〈ORCAについて〉

そもそも日本医師会のORCA開発の目的はORCAの開発は今、何処まで進んだのかORCAを導入する時のコストはORCAのサポート体制はどうなのか既存のレセコンからORCAにうまく切替できるのか日本医師会の執行部が変わってORCAの支援体制に変更があるのか

#### 〈電子カルテについて〉

電子カルテはたくさん販売されているようだが使いやすいのはどれか電子カルテをうまく使いこなすコツはずっと今まで紙のカルテを使っていたが、電子カルテにうまく切替できるのかエコーやレントゲンフィルム、スケッチなども電子的な保存ができるのかORCAとうまく連動できるのか

#### 〈レセプトの電算処理システムについて〉

レセプトの電子媒体での提出は、医療機関にとってほんとにメリットがあるのか提出されたデータが審査・支払以外にいろいろ利用されるのか将来の電子的な審査につながるのか

こういった医療の電算化についての疑問や不安を、メーカーや行政、審査支払機関の立場でなくあくまでユーザーサイドに立った視点で解説していただきます。特に今回は、全国的に見てもこの分野のエキスパートであり、きわめてユニークな組み合わせの、お二人の開業医師を講師にお迎えして開催することとなりました。ぜひこの機会をお見逃しなく。なお開催にあたり、あらかじめ講師への質問や講演内容についての要望がありましたら保険医協会までお知らせ下さい。

開催日 10月24日(日)

開催時間 10時~12時半

場所 金沢都ホテル 5階

参加対象 会員及びスタッフ

講師 本田孝也先生

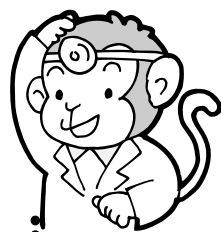
小森 貴先生

長崎県保険医協会理事・保団連情報通信ネットワーク部員

石川県医師会理事・日医IT問題検討委員会委員

お申込みは、保険医協会まで

TEL (076) 222-5373 FAX (076) 231-5156



おサル先生の  
在宅医療入門

小川 滋彦(金沢市・内科)

『栄養士さんがスタッフに!』の巻

いや、自分でも予想外では、金沢大学保健学科・

の展開となつてびっくりし 真田弘美先生の褥瘡研究室 塚田先生は、真田先生の 展覧となっております。 スタッフの決 から大学院生の方々が、難 治性褥瘡の在宅患者さんを して多くはない当院です。 療では大変有名な開業医 が、何と管理栄養士さんに よく見に来て下さったの 来てもらっているのです。 で、そういったイメージで お願ひしたつもりだったの こと。 金沢大学の 大村健二先 生から石川NST研究会に 参加をすすめられたのが五 月。「NST」は何回かこ のコラムでも取り上げた 「栄養支援チーム」のこと をされたので、私の質問は ずいぶん先生を困らせてし まったようです。

「栄養支援チーム」のこと をされたので、私の質問は ずいぶん先生を困らせてし まったようです。 それから二週間ほどした ある日、その大谷先生から 「どんなことをするのかお 話を聞いてみたい栄養士が います」とメールをいただ きました。質問した張本人 がいなと思いましたが、そし て、もう一つは、管理栄養士 を雇ったこと。在宅での褥瘡 を究めると、結局、栄養の 問題に行き着くからだそう です。私の脳裏から自信に 満ちた彼の笑顔がなかなか 消えようとはしませんでし た。

「NST」は何回かこ のコラムでも取り上げた 「栄養支援チーム」のこと をされたので、私の質問は ずいぶん先生を困らせてし まったようです。 それから二週間ほどした ある日、その大谷先生から 「どんなことをするのかお 話を聞いてみたい栄養士が います」とメールをいただ きました。質問した張本人 がいなと思いましたが、そし て、もう一つは、管理栄養士 を雇ったこと。在宅での褥瘡 を究めると、結局、栄養の 問題に行き着くからだそう です。私の脳裏から自信に 満ちた彼の笑顔がなかなか 消えようとはしませんでし た。

「NST」は何回かこ のコラムでも取り上げた 「栄養支援チーム」のこと をされたので、私の質問は ずいぶん先生を困らせてし まったようです。 それから二週間ほどした ある日、その大谷先生から 「どんなことをするのかお 話を聞いてみたい栄養士が います」とメールをいただ きました。質問した張本人 がいなと思いましたが、そし て、もう一つは、管理栄養士 を雇ったこと。在宅での褥瘡 を究めると、結局、栄養の 問題に行き着くからだそう です。私の脳裏から自信に 満ちた彼の笑顔がなかなか 消えようとはしませんでし た。

第6回 石川県保険医協会会員コンサート

協会30周年記念コンサート

会員・ご家族・ご近所・患者さんなど、たくさんの方のご来場をお待ちしております。

とき 2004年11月21日(日) 開場:午後3時半 / 開演:午後4時 / (終演予定:午後6時半)

ところ 金沢読売会館 1階ホール (金沢市大手町5-30 電話:076-233-4570) ※駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。

入場料 無料 (どなたでも参加できます)

●出演のお申し込み・お問い合わせなどは、下記までご連絡ください。

石川県保険医協会 電話 076(222)5373 FAX 076(231)5156 E-mail:iskw\_sugino@doc-net.or.jp

ただ今、出演者募集中!! (10月末日まで)

- ①保険医協会会員とその家族・友人の方。
- ②洋楽・邦楽、いずれもジャンルを問いません。
- ③個人の出演者は10分以内の演奏。
- ④グループ演奏は15分以内の演奏。

※ご出演頂ける方には、「出演申込用紙」をお送りします。保険医協会まで、ご連絡ください。



「管理栄養士さんの在宅医療入門」が始まる? 胃ろうカテーテル管理をし

「胃ろう専門」 養士さんに任せれば良いで はないか。よし、打倒! 塚田だ。塚田先生に追いつ き追い越せと、決心したの です。

「胃ろう専門」 養士さんに任せれば良いで はないか。よし、打倒! 塚田だ。塚田先生に追いつ き追い越せと、決心したの です。

第6回 北陸PEG・在宅栄養研究会のご案内

期日 2004年11月13日(土) 15:00~18:00

会場 石川県地場産業振興センター大ホール 金沢市鞍月2-1 (TEL 076-268-2010)

特別講演 「嚥下障害の機序と治療、リハビリテーション(仮題)」 藤島一郎先生 (聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷三方原病院 リハビリテーションセンター長)

一般演題 経皮内視鏡的胃瘻造設術(PEG) および在宅栄養法に関する演題

代表世話人: 金沢大学名誉教授 磨伊正義  
当番世話人: 藤が丘クリニック 藤岡照裕  
事務局: 小川医院 小川滋彦 (TEL076-261-8821)

国際高齢者年・石川INGOシンポジウム

高齢者の権利擁護と虐待の防止を考える

とき 2004年11月20日(土) 午後2時~午後4時30分

ところ 石川県教育会館 2階大会議室 (金沢市香林坊・アトリオ裏 Tel:076-222-1241) 参加費 資料代 500円

【基調講演】 「高齢者虐待と人権を考える—法的整備の必要性」 日本弁護士会・高齢者障害者の権利に関する委員会委員長 高野範城氏

【シンポジウム】 「金沢市における高齢者虐待防止のモデル事業と今後の施策」 金沢市福祉保健部長寿福祉課課長 澤田 博氏  
「当事者家族の係わり方について」 澤 桂子氏  
「高齢者ケアと人権意識について」 石川県立看護大学助教授 川島和代氏

《司会者》 国際高齢者年・石川INGO事務局員 寺本紀子氏

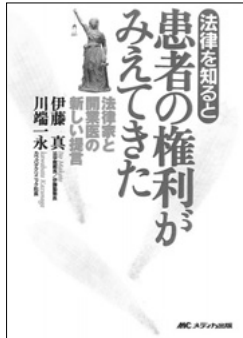
主催/国際高齢者年・石川INGO(運営委員長 井上英夫)  
後援/金沢市、金沢市社会福祉協議会  
連絡先: 石川県保険医協会 TEL(076)222-5373 FAX(076)231-5156

新刊案内

# 「法律を知ると患者の権利がみえてきた」

— 法律家と開業医の新しい提言 —

紹介者 小島 登 (内灘町・歯科)



伊藤 真著  
(弁護士業務を休業、法学館館長)  
川端一永著  
(ペインクリニック 川端クリニック院長)  
メディカ出版発行  
2003年10月発行  
213P 21cm  
【販売価格】1,890円 (税込)

書店またはネットでお求めください。

患者と医療従事者の対等な人間関係を考えさせる面白い本を見つけました。以下、箇条書きにて、内容をご紹介します。

## 憲法を通して、患者の権利やインフォームドコンセントの問題を考える

1. 民主主義の根本は主体的に生きること  
知るということは、何らかの評価や決断、行動が伴う。自分の考えを持ち、自分で決めること、その結果に責任を持つこと。
2. 日本の憲法で最も大切にしているものは「個人の尊重」  
自分が大切、でもそれと同じように人も大切という考えが憲法です。  
「人権」はもともと人が持っていたが、それを人が発見した「憲法」は、人が発明した道具で、社会全体の幸せの総量を増やすことができる。  
憲法は「国家権力に歯止めをかけて、国民の権利を守るためにある」。  
「国家」が「国民」に歯止めをかけるのが法律で、逆に「国民」が「国家」に歯止めをかけるのが憲法というこ

とになる。本当に憲法を必要としているのは、少数派であり、弱者である。

いかに相手の立場、弱者や少数者の立場に立って考えられるか、想像力を働かせることができるかが「憲法感覚」であり、「人権感覚」である。

反面、実際上は厳しい局面ももたらす。

凶悪犯人でも市民と同じようにひとりの人間として尊重すべきである。誰かの不幸の上に成り立つ自分の幸せは本物ではない。

制度は手段で目的ではない。

### 3. 幕末に西周(にし あまね)がヨーロッパに留学してRIGHTを「権利」と訳した

人権とは、国家権力の個人領域への介入を排除するためのもの。憲法では最も人権が侵されやすい弱い立場にある被疑者、被告人を守ろうとしている。

### 4. 医療従事者と患者との関係

あくまでも対等な関係が理想である。「患者様」がいいのか「患者さんが、いかなる権利を持っている人たちのか」ということを習わない。

医療の対象となるのは心も含めた人間であり、それぞれに違いがある。

医療従事者も個性があり、それぞれ違いがある。

相手を人間として尊重し、その個性を認め合う。

「役割分担」が違う。

医療従事者は専門知識に関して数段上の知識を持っている。

患者さんは自分自身のことは多く知っている。

その両方の知識があってはじめて正しい医療の結果が導き出される。

わがままな患者も尊重しなければならない。

その人にあったサービスを提供するのが医療だと思う。

### 5. インフォームド・コンセント

「説明と同意」ではなく、「同意するための説明」「説明に基づいた同意」であり、本質は「同意」である。

本質は、対等な両当事者が共通の目的(その患者さ

んの健康回復なり治療)に向かって気持ちよく協力し合えるルール。

### ★インフォームド・コンセントの本質は

- 患者に不利なこと・不利益なことを伝えること。
- 考えを患者さんに押しつけない。
- 患者さんが自分で判断できるための材料は充分提供する。
- そこから良好な関係が生まれる。
- 自己決定権＝個人の尊重。
- 目的は患者さんと気持ちよく関係性を維持すること。
- 手段としてインフォームド・コンセントなどの説明。
- 話す側も事実と意見をきちっと使い分ける、聞き分ける。

### 6. 教科書に載っていることをやっていけば訴訟にはならない患者さんのために、ある意味危険を感じながらやっている。

学ぶときには原則をしっかり学ぶ必要がある。

しかし、実践はむしろその修正なり例外の方が多い。

修正パターン(既存の考え方ではない新しいもの、つまり変化球を持ってきて、自分の引き出しの中にある何か)を取り出せるかが重要だと思う。

ミスをしたときにどういうふうに対処できるかが大事。

「それをちゃんと見ていなかった私やスタッフが悪いのですから」と謝った。

「何が良い医療行為だろうか」ということを本当に幅広く考える。

専門家の間では良かったという結果であっても、その患者さんにとって本当に良かったのか分からない。

医学的にみて正しいやり方でも、患者さんは苦しんでいる。

### 7. 医療行為は客観的にみれば傷害罪と同じことをしている犯罪にもなるし、正しいことにもなる瀬戸際のことをしていると肝に銘じている必要がある。

人を切りつけているのにも該当するような行為。

患者さんが納得しているとか、または患者さんのためになっているとかいうのが、唯一の正当化理由になる。



薬師岳山頂からのスキー滑降

が認められる。この山を一躍世に知らしめたのは昭和三十八年(いわゆるさんばち豪雪)の冬に起きた愛知大学山岳部の大量遭難事故である。折からの豪雪で遭難した学生十三人が全員雪山で命を失うという一度に死亡した数としては国内では最悪の遭難事故であった。

この山への登山口は富山県の折立(標高千三百五十メートル)が一般的だが、ここからのアプローチもかなり長く、一般的には標高二千三百メートルの太郎平で一泊して翌日山頂を目指す。折立から日帰りすることもかなりの健脚者でなければ無理である。今年の五月二十六日、多分、過去には対照的に薬師の実に横に長いのんびりした山容なハードな挑戦を友人

と二人で行った。有峰林道の入り口の亀谷温泉(標高三百九十メートル)から折立までスキーを担いで自転車を漕ぎ、折立から山頂までスキーを背負って歩き、太郎平手前からスキーを利

用して山頂を目指して登山頂し、帰りは山頂からスキーで滑降をして下山するという超ハードな山行であった。総距離六十四キロ、累積標高差三千メートル、要した時間十六時間と、過去に自分が行った山行の中でもどれも記録づくめであった。

とくにこの時期閉鎖中の有峰林道をスキーとザックを合わせて約十五キロの重荷を背負ってスキー靴で自転車を漕ぐという試練は、今年四十五歳になる僕の肉体にはかなりの重労働であった。この林道だけでも片道二十キロ、標高差千メートルがあり、ほぼ三時間休み無しで漕ぎ続けるとい

う、ある種の拷問のような試練であった。

この時期もちろん僕たち以外に入山者は誰もいないはずで、友人と二人貸し切りの山行を楽しんだ。自転車と徒歩とスキーを駆使して亀谷温泉から十一時間かけて山頂にたどり着いた僕たちは、

山頂からの三百六十度の北アルプスの大展望を満喫した。さらに山頂から東面に広がる広大なカー

ル状の雪の斜面に滑り込んで山スキーを楽しんだ。

この時期でも薬師岳には豊富な残雪が残り、山スキーの僕たちは、残り少ない山スキーシーズン

を存分に楽しんだ。

フィナーレは、もう一度山頂に登り返して山頂から太郎平までの滑走である。スキーを楽しんだ後雪が切れた地点でスキーを再度担いで山を下り、折立から再び自転車を乗って一気に里まで下った。

亀谷温泉を出発したのは深夜一時五十分、くだりになって自転車でまた下りてきたのが夕暮れ迫る夜六時であった。この日も完全燃焼して僕たちのつらい山行に終止符が打たれた。薬師岳はスキーよし、沢登りよし、縦走登山よし、決して登山者を飽きさせない山である。

# 早川ドクターの山三昧



【第31話】 薬師岳

早川 康浩 (金沢市・内科)

昭和三十八年(いわゆるさんばち豪雪)の冬に起きた愛知大学山岳部の大量遭難事故である。折からの豪雪で遭難した学生十三人が全員雪山で命を失うという一度に死亡した数としては国内では最悪の遭難事故であった。

この山への登山口は富山県の折立(標高千三百五十メートル)が一般的だが、ここからのアプローチもかなり長く、一般的には標高二千三百メートルの太郎平で一泊して翌日山頂を目指す。折立から日帰りすることもかなりの健脚者でなければ無理である。今年の五月二十六日、多分、過去には対照的に薬師の実に横に長いのんびりした山容なハードな挑戦を友人

と二人で行った。有峰林道の入り口の亀谷温泉(標高三百九十メートル)から折立までスキーを担いで自転車を漕ぎ、折立から山頂までスキーを背負って歩き、太郎平手前からスキーを利

用して山頂を目指して登山頂し、帰りは山頂からスキーで滑降をして下山するという超ハードな山行であった。総距離六十四キロ、累積標高差三千メートル、要した時間十六時間と、過去に自分が行った山行の中でもどれも記録づくめであった。

とくにこの時期閉鎖中の有峰林道をスキーとザックを合わせて約十五キロの重荷を背負ってスキー靴で自転車を漕ぐという試練は、今年四十五歳になる僕の肉体にはかなりの重労働であった。この林道だけでも片道二十キロ、標高差千メートルがあり、ほぼ三時間休み無しで漕ぎ続けるとい

う、ある種の拷問のような試練であった。

この時期もちろん僕たち以外に入山者は誰もいないはずで、友人と二人貸し切りの山行を楽しんだ。自転車と徒歩とスキーを駆使して亀谷温泉から十一時間かけて山頂にたどり着いた僕たちは、



完全燃焼して亀谷温泉に帰り着いた

# 人権を守る

## 医師の責務と

### 「九条の会」

白崎 良明 (金沢市・内科)

本紙八月号の平和特集記事に感銘し、共感を覚えた。

私の両下腿には、今もケロイドが残る。その面積を集合すると、ちょうど二歳児の下腿の表面積になるはずだ。

福井空襲を避けて田舎に疎開していた私は、栄養失調に近い状態だった。ぶよに刺された下腿は化膿し、骨が見え、消毒されるときは泣き喚いたという。成長にともない面積は狭くなっていったが、このケロイドは家族から聞いた戦争体験とともに、私の戦争反対への出発点のひとつである。

一九九七年、日米防衛協力のための指針(新ガイドライン)、一九九九年、周辺事態法が成立した。当時、城北病院に横須賀の海上自衛隊から電話がか

かってきた。金沢港から病院までの距離や、必要なときには高圧酸素タンクを利用できるかの問い合わせであった。戦争の準備がされている、それに協力させられるようになる不安を覚えた。

昨年(2003年)から今年にかけて「国民保護」法を含む有事関連法案が相次いで成立し、軍行動円滑法に基づき、米軍支援が認められるとともに、有事には国民の権利は停止され、地方自治体の長、さらには緊急時には自衛隊そのものが命令を下せるようになった。病院、診療所は管理下におかれ、医師、歯科医師は技術職は、自衛隊の同種の業務に就くよう命令される。官報にはそれらの公用令書書式(戦時の赤紙と呼ばれるものと同じ)も記載、準備されている。

「共謀法」が国会で審議されていることを新聞で知った。自衛隊の高圧酸素タンク使用を阻止するために、ピケを張って反対しようかと相談し、市民にも支援を要請——などの行動は、「共謀法」違反で逮捕されかねない。事前に密告した人には刑を軽減するという条項まであるという。

着々と戦争への準備がされているが、最後の仕上げは憲法「改正」(憲法九条の戦争放棄、武力不保持をなきものに)であろう。

# ラスベガスの魅力

生来の遊び好きが高じて、ラスベガスを訪れるようになって何年かたつて

まいりました。

て、ラスベガスを訪れるようになって何年かたつて

今年の五月の大型連休とて例外ではなく、手荷物ひとつの身軽な旅支度でラスベガスの中心街から程近いマッカラン国際空港に降り立つと、一目散にタクシー

乗りに直行です。順番を待って車に乗り込み「パリス・ホテル」と行き先を告げホテルに向かいます。途中ドライバーが気さく

に話しかけてきます「ホエアール・ユー・フロアス・エンパイアステート

ビルや自由の女神像まであるニューヨークニューヨークなどどれも個性豊かです。しかしながらなによりもこの街の圧倒的に巨大な建造物、おびただしい数の人、そして砂漠の真ん中に

自分」を少なからず「演じて」います。そうしながら日々の仕事に追われていると心が澁んできて平常心を保つことが難しくなりま

す。飲みに出たりして多少のリフレッシュはする事はできるでしょうし、ゴルフをするという方もいらっしゃるでしょう。それにしたところで行く先々で素性は知られてしまっています

し、いろいろなしがらみから完全に離れてしまうことは難しいでしょう。そんなことが煩わしくなるとちょっとリフレッシュしたぐらいでは不十分だと思えて、一度完全にリセットしてしまいたくなります。

## グループ保険還元金 9月24日(金)に送金します

2003年度グループ保険の還元金は、48%に決定

9月24日にグループ保険加入会員に送金します。なお、この還元金は年間保険料の割戻しのため、非課税扱いになります。どこよりも有利な保険医協会のグループ保険。会員本人は4千万円、配偶者は1千万円、お子様は4百万円まで加入できますので、ぜひ、満額加入をお勧めします。加入状況をお知りになりたい方や、保険金の増額をご希望される方は、保険医協会まで遠慮なくご連絡ください。

お問い合わせは協会事務局まで ☎076-222-5373

## 会員リレーエッセイ

「九条の会」のアピールは「憲法「改正」の意図は日本をアメリカに従って「戦争をする国」に変えることにあり、・・・軍事優先の国家に向かう道を歩むものである。・・・国の未来の在り方に対する主権者の責任として憲法を守るといふ一点で手をつなぎ、一人ひとりができるあらゆる努力をいまずぐはじめること」を訴えている。ホームページは世界に発信するために韓国語、中国語、英語、仏語でも書かれている。 [www.9.jp/](http://www.9.jp/)

「Lancet」八月二十一日号は「健康と人権」一面であの思まわしいイラク、アブグレイブ刑務所の虐待に軍医が協力していたとの記事を載せた。私たちの先輩は心ならずも「軍医」として戦争に協力させられた。再び、同じ道を歩まされるのはごめんだ。医師は生命を守ることを使命としている。戦争になれば人間の尊厳も人権も奪われ、理由もなく、多数の人命が奪われていく。救命することのできない疾病に対しては予防あるのみが医療の教えのほうです。

### 囲碁

■出題 九段 佐藤昌晴

黒先白死 5分で高段者  
〈ヒント〉3手目が急所です。

(解答は2面にあります)

### 将棋

■出題 六段 高田尚平

持駒 飛銀

〈ヒント〉1四の角が詰み上がりを暗示。10分で1級。

(解答は2面にあります)



三宅 靖 (金沢市・内科)

今年(2003年)の五月の大型連休とて例外ではなく、手荷物ひとつの身軽な旅支度でラスベガスの中心街から程近いマッカラン国際空港に降り立つと、一目散にタクシー乗りに直行です。順番を待って車に乗り込み「パリス・ホテル」と行き先を告げホテルに向かいます。途中ドライバーが気さくに話しかけてきます「ホエアール・ユー・フロアス・エンパイアステート

ビルや自由の女神像まであるニューヨークニューヨークなどどれも個性豊かです。しかしながらなによりもこの街の圧倒的に巨大な建造物、おびただしい数の人、そして砂漠の真ん中に

自分」を少なからず「演じて」います。そうしながら日々の仕事に追われていると心が澁んできて平常心を保つことが難しくなりま

す。飲みに出たりして多少のリフレッシュはする事はできるでしょうし、ゴルフをするという方もいらっしゃるでしょう。それにしたところで行く先々で素性は知られてしまっています

し、いろいろなしがらみから完全に離れてしまうことは難しいでしょう。そんなことが煩わしくなるとちょっとリフレッシュしたぐらいでは不十分だと思えて、一度完全にリセットしてしまいたくなります。

せいで五日間程度の休